

パブリックコメントの結果

【碧南市子ども読書活動推進計画第四次（案）に対するご意見について】

今回のパブリックコメントでは8件のご意見をいただきました。提出いただいたご意見は、趣旨を損なわないように要約しました。

No	意 見	回 答
1	中学校の各校に司書を1人ずつ配置するべきではないか。	中学校では休み時間が短く、司書を配置し開館していてもゆっくり本を選ぶ時間がなかなか保障できません。唯一長い昼休みは、図書委員会が活動しており、貸出業務は生徒の自治的活動の大切な役割のひとつとなっているため、そこには司書はそれほど必要とされません。 また、放課後についてもほとんどの生徒が部活動に参加しているため、図書館に司書を配置して開館しているという費用対効果は大して見込めません。また、授業中の図書館利用については教科ごとにねらいがあり、司書が一律に対応しきれものではありません。 働き方改革が叫ばれる今、図書館担当教諭の負担軽減の意味で蔵書整理や新書のPRなどに司書が手を貸していただけると助かりますが、平日5日間の配置は小学校のような効果（貸出数の増加）までは見込めません。予算にも限りがあるため、現在のところ配置する予定はありません。生徒委員会が部活動で配置できない放課後の開館を必要とする生徒はいるため、週1回勤務曜日を決めそれを周知しているのが現状です。
2	学校司書のレベルアップを含め、図書館司書が指導助言総括するべきではないか	第3章1（3）「図書館機能の充実」において、学校司書の資質向上と、図書館司書との連携を図るため「学校図書館連絡会」、「学校図書館司書研修会」の定期的な開催について記載しています。そういった機会を活用し、図書館司書からの

		助言等を行い、相互的なレベルアップが行えるように努めてまいります。
3	小中学校の書籍更新が遅れている。また、職業案内など進路に係る資料が古く実用的ではない。総合的な予算確保や更新計画を持つべきではないか。	第3章1(2)「資料の充実」にある通り、すべての学校図書館において、文部科学省が設定した整備基準冊数を上回っています。また資料の更新や計画的な予算確保についてもこちらに記載されております。 職業案内や進路に係る資料については、図書館の団体貸出を活用しつつ、各校で購入についての検討をしております。
4	図書館本館は入館したとき暗い感じがする。絨毯をクッション性のある無垢木材の明るい色調にするなど、メンテナンスや改修を行うべき。	施設の整備に関しては「碧南の図書館サービス計画(第二次)」第3章2(6)「施設・設備等の整備」の通り、緊急度の高いものから計画的に改修を行うように努めてまいります。
5	図書館のレベル保持のため、司書の正規化などのマンパワーの確保を明示すべき。	第4章(3)「子どもにとって使いやすい図書館にするための取り組み」において、児童担当職員の人員の確保について記載しております。今後も司書の人材確保に努め、よりよいサービスを提供できるように努めてまいります。
6	レストランなどの閉館が続くなら、学習スペースなどの拡張に向けていってはどうか。	令和2年度は、工事のため一時休館しておりましたが、現在は通常営業をしております。
7	文章中に「配布」という文字が使われているが、正しくは「配付」ではないか。	「配付」は個々に配ることをさし、「配布」は、広く行きわたるように配ることを意味しております。本計画については、後者の意味と捉えており、「配布」という表現で統一させていただいております。
8	伊勢湾台風について、当時の小中学生が書いた作文をまとめたものが手元にあり、コピーの一部を送付したが、図書館でこの本を所蔵していると思う。これをデジタル化して保存できないか。	まず、デジタル化についてですが、いただいたコピーは、図書館所蔵の『たい風』(碧南青年会議所/編、1959)という資料に該当するかと思います。 資料には著作権があるため、著作権法

	さらに、この資料を音声化し、可能であれば書いた本人への聞き取りや今の風景を交えてDVDを作成し、小中学校で災害に関する授業で活用できないか。	上、著作者の許諾を得なければデジタル化することはできません。『たい風』は、複数の方が書いてみえるため、一人一人の許諾を得る必要があり、デジタル化するのは難しい状態です。 しかし、図書館では保存のため必要がある場合の複製は認められています。将来的に原本の劣化が進んだ際、長期に保存し利用者へ情報が提供できるよう、デジタル化を視野に入れて検討してまいります。 また、音声化についても、同じように著作者の許諾が必要となります。書いた方への聞き取りや映像化についても現状では対応が難しいため、関係する部署へ連絡し、ご要望として承ります。
--	---	---